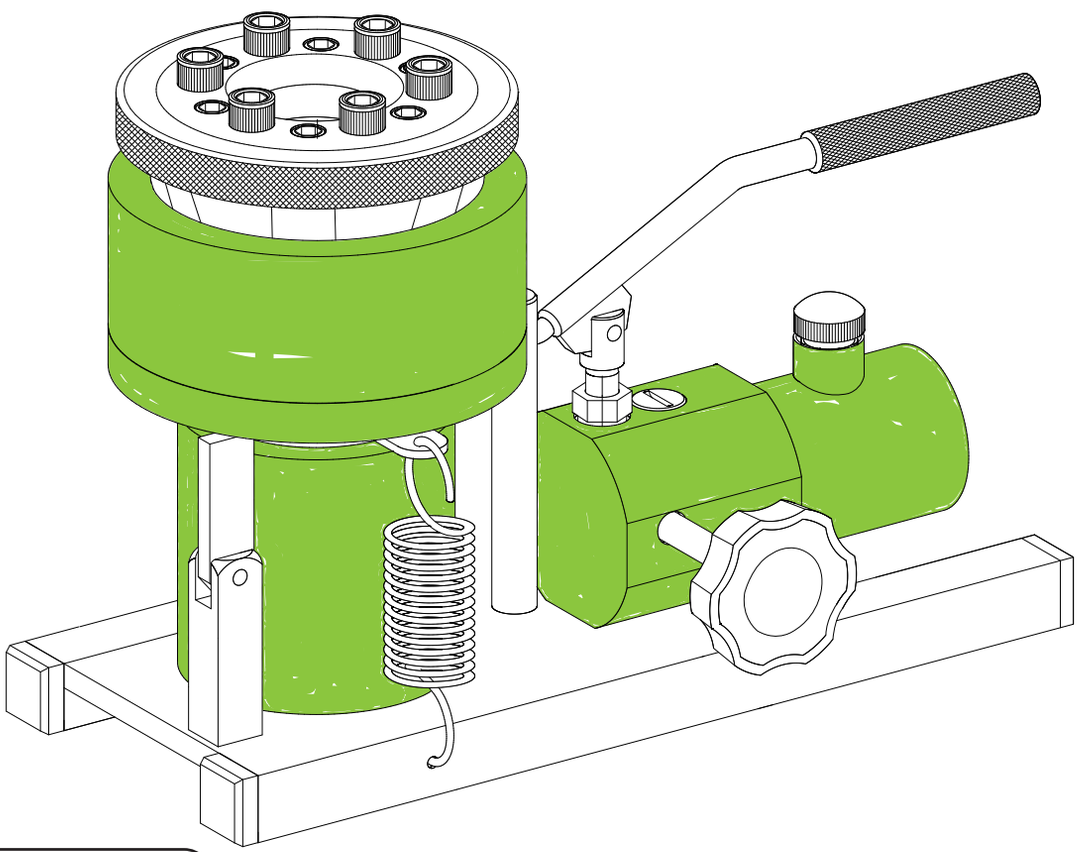
Nagata

取扱説明書

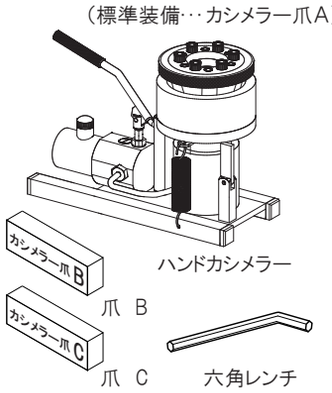
ハンドカシメラー

型式 KH⑥DX



同梱品を
ご確認ください。

（標準装備･･･カシメラー爪A）

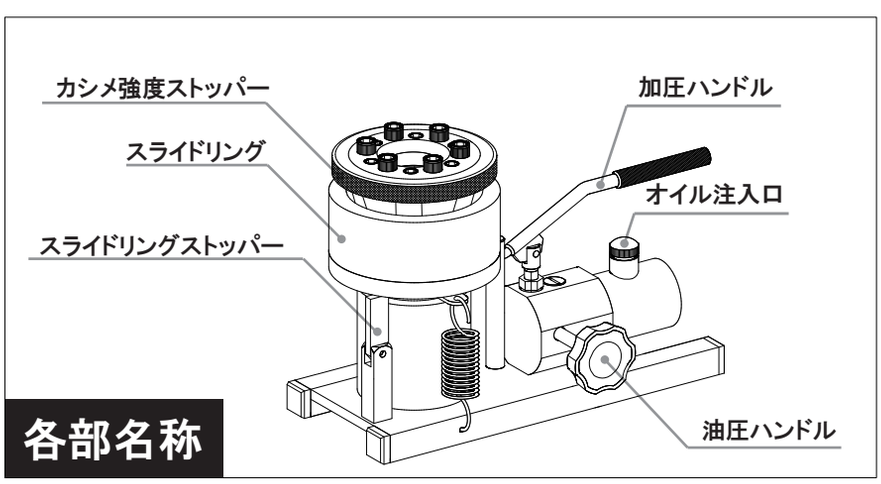


ハンドカシメラー

爪 B

爪 C

六角レンチ



各部名称

株式会社 永田製作所

安全に正しくお使いいただくために

この度はハンドカシメラーKH-6DXをお買い上げいただきありがとうございます
安全で快適なカシメ作業を行っていただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。 なお、本書はいつでも内容が確認できるように大切に保管してください。

⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人がケガをしたり財産に損害を受けるおそれのある内容を示しています。

⚠注意

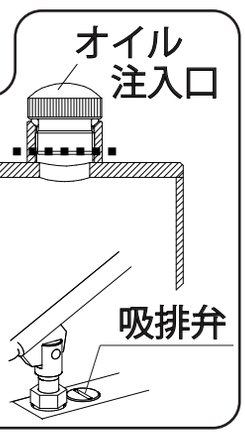
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には保管しないでください。
- 分解、改造をしないでください。
- 爪はカシメラーフタに内蔵されている鋼球まできちんと入れてください。（そのままスライドリングを上げると故障の原因となります。）
- 安定した場所で作業を行ってください。
- ホースをカシメる以外に使用しないでください。

⚠警告

- 本体に水や飲料水などで濡らさないでください。
- 油は指定油を入れてください。（Mobil　DTE　＃24、＃26 または、タービン油）
- 油は規定量入れてください。
- ホースを傷つけると事故の原因になるためカシメすぎには注意してください。

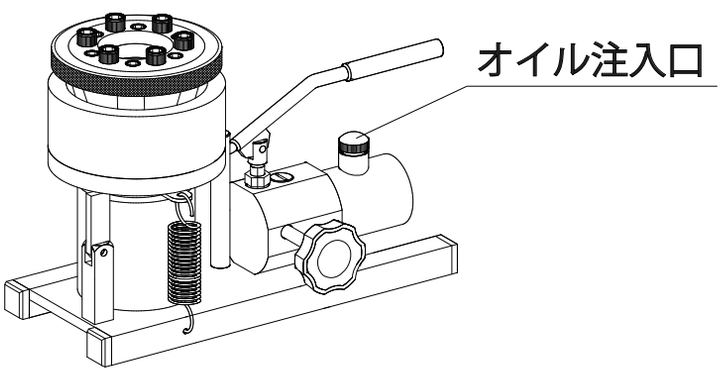
おかしいな？と 思ったら・・・

- 油が少なくないか確かめてください。
  油はスライドリングを下げた状態で
  ねじ部（点線）まで入れてください。
- 吸排弁にゴミがつまっていないか または Oリングが傷んでないか調べてください。



取扱説明書

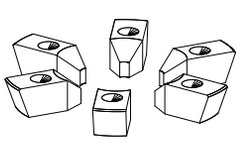
（1）ハンドカシメラーを水平にしてオイル注入口を緩める。

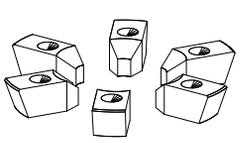


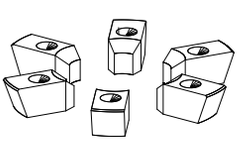
緩めても油は出ません。

**もし緩めなかったら・・・
エアーが噛んで
スライドリングが
作動しない場合がある。**

（2）爪をホースサイズにあわせる。

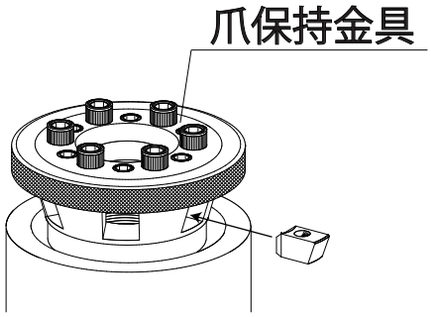
爪A 
（φ7.5 ～φ8.5）

爪B 
（φ10 ～φ13）

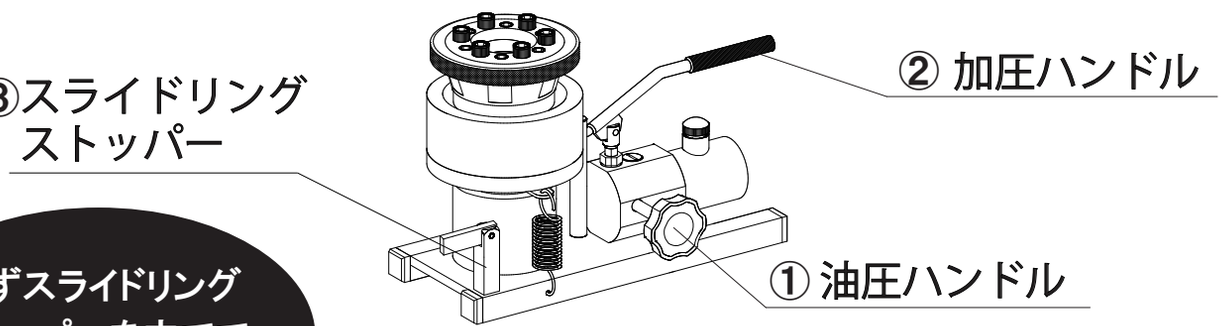
爪C 
（φ16 ～φ19）

（3）スライドリングストッパーを解除し（下図③）
油圧ハンドルを緩め（下図①） スライドリングを下まで
おろした後、爪をカシメラー爪保持金具に
入れる。（ゴミをきれいに拭き取って
グリスを塗布すること）

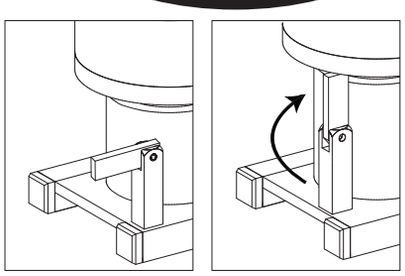
**爪を「カチッ」と音がするまで
入れないと故障の原因となります。**

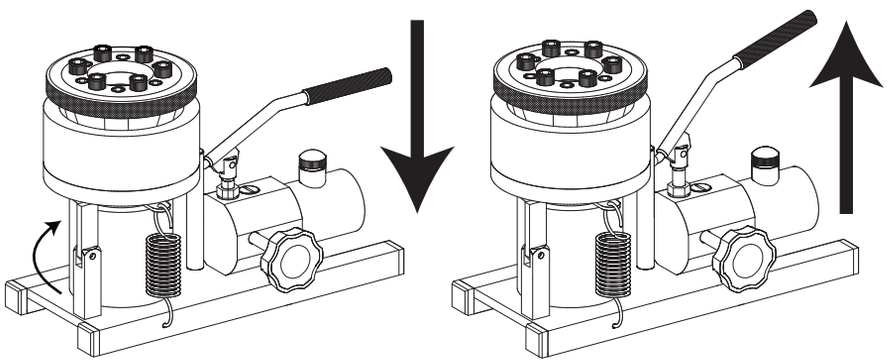


（4）爪を装着後、油圧ハンドルを閉じ 加圧ハンドルを操作し
スライドリングストッパーを立てる。

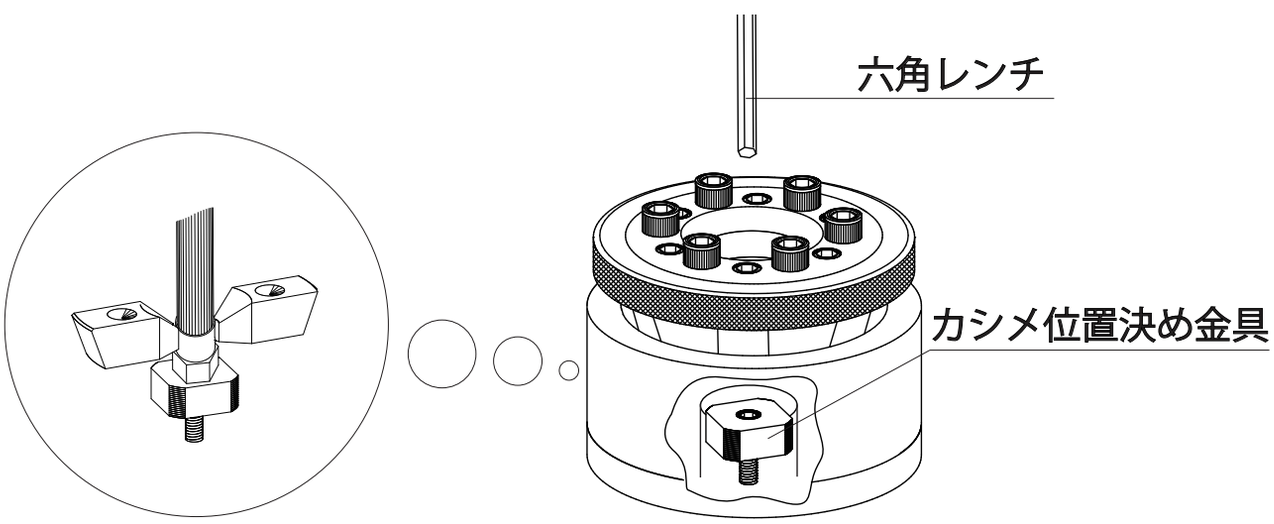


**必ずスライドリング
ストッパーを立てて
ご使用ください。**

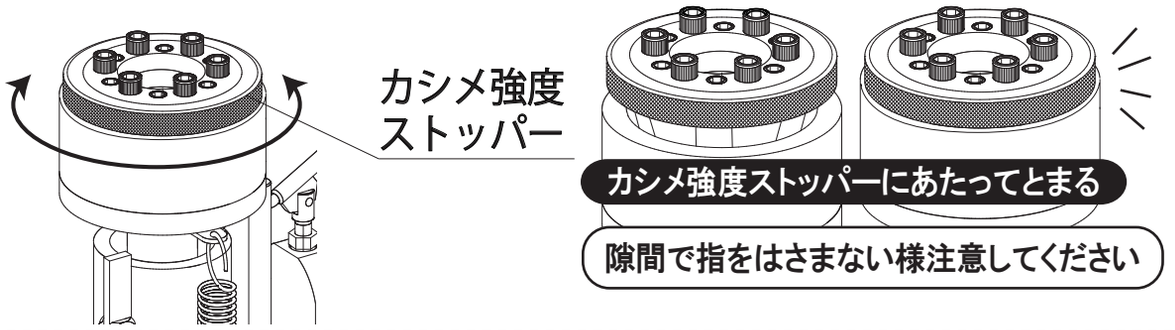




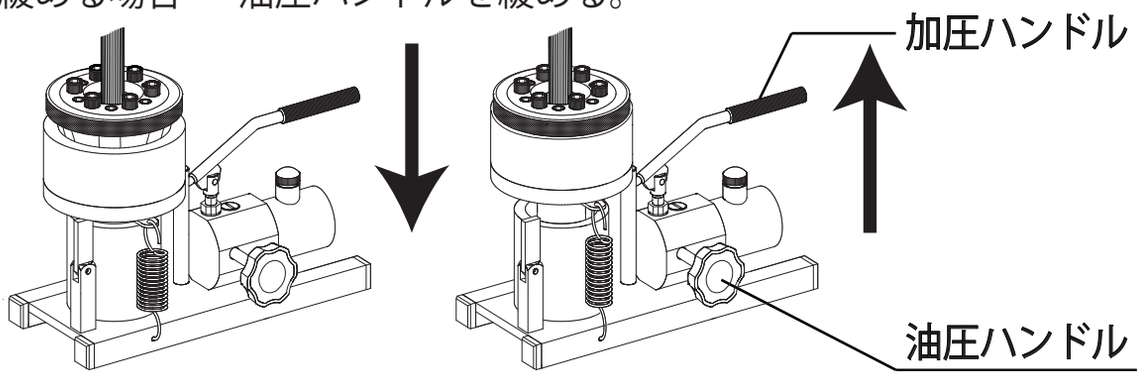
（5）ホース締め付け位置は、カシメ位置決め金具を六角レンチで調節する。



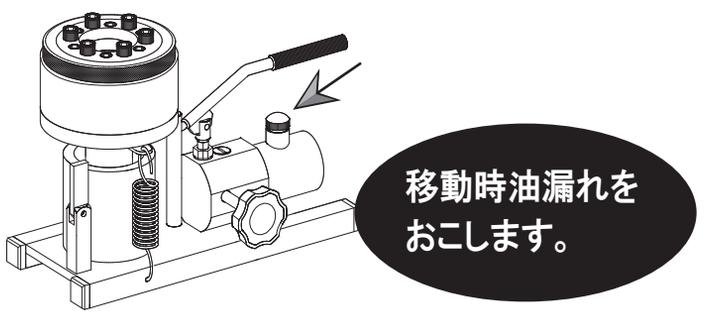
（6）締め付けの強さは、カシメ強度ストッパーを調節する。

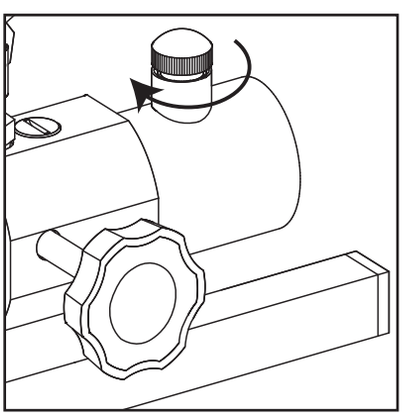


（7）ホースをカシメる。→ホースを垂直に入れた後　加圧ハンドルを操作する。
（8）緩める場合 → 油圧ハンドルを緩める。



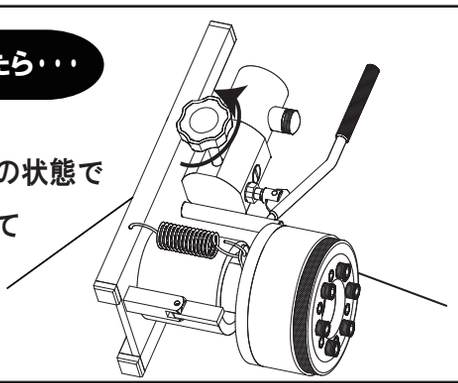
（9）使用後はオイル注入口を締めておくこと。





もしシリンダーの中に空気が入ったら・・・

スライドリングが上がったままの状態で
スライドリングを下に本体を立て
油圧ハンドルを開く。



製品動画

製品情報

永田製作所HP

パーツリスト

http://www.nagataseisakusyo.co.jp

製品名	ハンドカシメラー　KH-6DX		
コード No.	2504100	重　量	21.2kg
全　長	390mm×240mm×200mm		

記載内容の性能・仕様は改良の為、予告なく変更する場合があります。
pl.25041.201405